



石川県 羽咋市
はくい
ふくむ はくい
姉妹都市

千里浜砂像2022



千里浜 砂の芸術 千里浜砂像を展示中

千里浜の砂の芸術「砂像」が、今年もなぎさドライブウェイ終点の「能登千里浜レストハウス」横で制作されています。

千里浜海岸の特徴であるきめ細やかな砂を使い繊細なタッチで制作された、この砂の芸術は、千里浜の魅力の一つです。今回の制作作品は、アニメのキャラクターがモデルです。

地元の創立60周年の羽咋工業高校美術・デザイン部も3年ぶりに砂像作品を制作しました。生徒らは、校章のデザインや千里浜海岸の波をイメージした砂像を制作しました。

砂像は11月末まで展示（夜間はライトアップ）される予定ですので、羽咋へお越しの際は、ぜひ砂の芸術をご覧ください。

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～

No.78

【問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)】

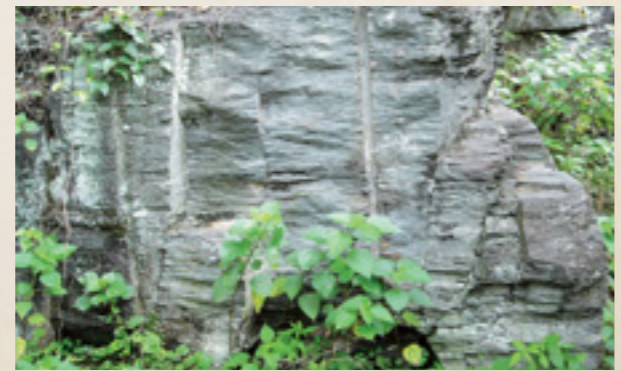
三波川結晶片岩

～地質学用語 命名の地～

鬼石地区を流れる三波川は、ヤマメやイワナがすむ清らかな溪流ですが、ある有名な地質学用語の元となった河川であることはあまり知られていません。明治21（1888）年に東京帝国大学の小藤文次郎が三波川での研究により命名した「三波川結晶片岩」は、その後、日本列島の基底に全長1,000kmに渡って分布する「三波川変成帯」という地層の学術名の元になりました。

三波川変成帯は地下深くに存在するため通常は地表からは見えませんが、地表に出ている箇所がいくつかあり、その一つが藤岡地域を含む一帯です。三波川変成帯は、三波川結晶片岩と呼ばれるキラキラした結晶を含む変性岩で構成されています。変成岩とは、地殻の圧力と高温によって岩石の性質が変わった石材で、緑色片岩・黒色片岩・雲母片岩・石英片岩といった種類に分かれ、庭石として利用される三波石は緑色片岩に含まれます。

三波川結晶片岩は、縄文時代から現在に至るまでさまざまな形で利用されていますが、採掘場所については意外なくらい分かっていません。しかし、三波川の岸壁には時期は不明ですが、三波川結晶片岩を採掘した石切り場の跡が残されており、市内にはまだ見つからないこのような採掘跡が無数にあると考えられます。



三波川岸壁の石切り場の跡

教えて！消費生活

消火器の悪質な訪問販売に注意！

Q 消火器の使用期限が迫っていたところ、ある日、紺色の服を着た人が突然消火器の点検に来ました。消防署員であるかのようなことを言ったので、てっきり消防署の人だと思い1万9,000円を支払い交換しました。すぐに消防署に確認し、だまされたことに気が付きました。どうしたら良いのでしょうか。

A 市役所や消防署などの公的機関の職員が消火器を訪問販売することはなく、特定業者の委託販売も行っていません。一般住宅には消火器の法的な設置義務はなく、設置義務があるかのように説明する悪質業者もいます。訪問販売において販売業者は契約書面の交付義務があります。契約書面を渡さない業者からは購入しないほうが良いでしょう。今回の場合、訪問販売であり、クーリングオフが主張できます。契約書面を受け取った日を含めて8日間以内に書面でクーリングオフを申し出れば、無条件で契約を解除でき、返金も可能です。しかし、業者名や連絡先など記載のある契約書面がなければどうすることもできません。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時

いまからできる！



日常防災

Everyday disaster prevention

災害時に自分や大切な家族を守るには知識と備えです。防災は日常に転がっており、生活と密接につながっています。防災を難しく考えず、簡単な日常の行動と結び付けて取り組んでいきませんか。

土砂災害における事前の備えと警報後の行動

【問い合わせ 地域安全課 (☎27444)】

土砂災害は主に大雨や地震などで発生します。突発的に発生し、瞬く間に住家や道路に被害を及ぼします。発生してからでは避難は間に合いません。「これはいつもと違う」と思ったら警戒が必要です。

また、避難指示などの発令時には、危険な区域から一刻も早く立ち退き避難を行うことが必要ですが、夜間や強風・大雨など避難時の状況によっては、取るべき行動が変わってくると考えられます。すでに災害が発生している状態で、避難所など別の安全な場所へ移動しようとする、その途中で災害に巻き込まれてしまう恐れがあるため、垂直避難による安全確保で危機を免れることが最適な場合もあります。

災害に対する事前の備えと警報後の行動について確認しましょう。

- ①住んでいる所が土砂災害警戒区域か確認する
ハザードマップやホームページで、自分の住

んでいる所が、土砂災害の発生する恐れのある「土砂災害警戒区域」に該当するか調べておく。

②大雨警報などの気象情報をチェックする
予想雨量や降雨時間、警報・注意報が出ていないかなどを、テレビやラジオ、気象庁などのホームページで確認する。

③避難が間に合わないときは上の階へ避難する
夜間や大雨時など、避難に危険が伴い避難が間に合わないときは、「山とは反対側」の「2階以上の上の階」に避難する。

